

趣味の作品メイト紙上展

令和3年度

オランダ、ザンス、フォークアート

豊が丘第一元気会 岡本稔子

ペインティングとの出会いは、隣の奥さまから“教室を持ちたいがいい場所があるなら”と相談される。それならとコミュニティセンターを紹介。平成18年のことでした。絵具、筆、材料全て準備、見るものすべて初めて尽くし、至れり尽くせりであるが、花びら一枚、葉一枚描けない日々が続き先生を梶子摺らせたこと今でも忘れられない。家に帰ってから随分描きましたが、練習用紙どれだけ使ったか。月日が経ち、気が付いたら手が覚えてくれました。下絵を頂いてから生徒同士日常会話をしながらでも作業ができるように。

自分好みの配色、色の濃淡出し方、単純な人間で褒められると欲が出て、あれもこれも良く描きました。十年目に先生が辞められて、一人立ちする自分が不安でしたが何とかなる精神で今まで描いてきました。体が元気で、手が動く限り絵具と向き合っていきたい。区の作品展が私を後押ししてくれました。作品展を通して学区外の方々とも話が出来、感謝の一言です。



人形洋服

豊が丘第二元気会 曾田春枝

令和3年度の作品展に応募した作品は一時話題になった「鬼滅の刃」の主人公の妹の禰津子の衣装を抱き人形に着せたものです。



孫のために抱き人形のドレスや着物を作っていました。その孫も大学生になりました。でも我が家にはモデルの人形がいますので裸では可哀そうと思行事ごとの衣装を作ることになりました。例えば夏祭りには浴衣・法被、ハロウィンにはオレンジのドレス、クリスマスにはサンタさん、寒くなればコートなどを着せていました。

禰津子の衣装は手芸店に行ったときに麻の葉模様の生地を見つけて、これは使えると早速作りました。一番苦労した点は黒の長羽織でした。布は黒留袖の生地をいただき型紙を作りましたが柔らかいので扱いが大変でした。布の始末はいい加減ですが洗濯するわけではないのでいい加減に済ませました。

訂正します

メイト169の「お詫び」の文中で、二か所ある「慈」は「滋」に訂正します。 広報部

名東区歴史探訪 (1)

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の尾張三河が生んだ3人の英雄にまつわる話は非常に多いが、名東区のマスコットキャラクター“勝家くん”、すなわち柴田勝家の単独の伝記は大変少ない。以下は、その郷土の豪傑、柴田勝家の話である。(北一社学区 宮地賢二)

柴田勝家出自の章

柴田勝家は1530年(一説には1522年)に尾張国社村の出自とされ、6歳まで現在の名東区陸前町の正徳山明徳寺で育つたとされ、幼名を権六と言った。この寺は、1390年ころ、真宗高田派の寺院として創建され、当初は、妙見寺と号していたが、後に、明徳寺となった。

柴田の系譜は足利氏の家来の一門である斯波氏の支流で、越後の柴田を居城とした一族が、「柴田」と称したことが始まりとされる、家紋は、「二つ雁金」である。柴田勝家の祖先は、室町幕府の9代将軍足利義尚(在位1473~1490)の家臣、柴田権六勝重である。勝家の祖父とも曾祖父ともいわれている勝重は、義尚亡き後、1494年ころ家来(柴田、浅野、宮地、小澄の4姓)と共に、領地社村に戻り、地域の開発発展に努め、一色城建立に貢献した、現在の一社のルーツはここにある。1503年に没した勝重は、仏門に帰依し、自ら禅学を修め、龍華山神蔵寺を建立し、勝家の位牌と共に、祠堂されている。勝重は、戒名を「靈源院殿天信了運大居士」と言う。また、父親は柴田土佐守勝義(足利義尚の家来、1547年没、戒名は「総徳院殿圓月日睨大居士」と言われている。なお、母親は、勝家26歳の時に亡くなっている。

社村伝説の章

勝家の出自とされている尾張国社村は、記紀によると、紀元1世紀ころ、この地区では農耕用の水不足が激しく、飢饉に見舞われ困窮していた。おりしも、日本を最初に平定した、武将であり都の高官でもあった武内宿禰(第8代・孝元天皇の子孫)が通りかかり、この窮状を救うため、白い鷹の羽の矢を一本、地面に立てて祈ったところ、矢が金色に光って地面から水があふれ出た。これが、矢白神社のルーツと言われ、また水の神、即ち五穀豊穡の神とされ、社の語源と言われている。(皇室:初代天皇神武以下、綏靖、安寧、懿徳、孝昭、孝安、孝霊、孝元、開化、10代崇神)

今回は、「尾張の国力」、「信長の初陣」についてお話しします。

「人は見たいものしか見ない」、稀代の英雄・Caesarの言葉です。正にこれを行って行ったのが、メイト169のお詫びの記事でした。ト既にお詫びの方は、お読みになつて「ヤヤヤヤ」されたことと思います。誤った箇所を、PC画面を見ながら修正する、そんな単純な作業も、そのことだけに気を取られ、すぐそばにあるもう一つの誤りにも気が付かない。今回の件では、高齢者にも視力の低下(白内障など)がある、すなわち、細かい違いには気づけないことも関係している、一概に英雄の言葉の通りと言うことではないかもしれない、気がつく、この言葉を出し、次回改めたい、石川絃一

編集後記



令和4年5月1日 170号
発行者 名東区なごやかクラブ連合会
名東区上社二丁目50番地
電話 052-778-3099
http://kurouren.chu.jp/

令和3年度「趣味の作品展」開催報告

開催日 令和4年3月24日(木)~25日(金)

場所 名東区役所2F講堂

3月8日、第3回文化部会で「趣味の作品展」の設営・運営について詳細な検討をしました。第1回、第2回の「高齢者福祉大会」(長島温泉)の討議が2回とも中止となり、今回こそ開催！との部員の意気込みを感じました。新型コロナ感染防止対策を徹底した中でも皆様に喜んでもらえるよう、明るく楽しい雰囲気づくりやBGMなど考えました。世話係の印である腕章は型苦しいためリボンを付けることにしましたが、リボンの備品が偶然にも空色と黄色(ウクライナ色)で胸に2色付けることにしました。

その他、設営、展示、運営に必要な備品を事務局とて再点検、購入しました。

23日(水)午前中に理事、有志、女性代表、文化部員の多数の協力で設営。設計図のミスがあり慌てましたが、どなたかのご指導で学区別使用区分を急遽変更し、午後の作品搬入を迎えることとなりました。出品者多数での展示作業は大変でしたが、比較的スムーズに終わることが出来たと思います。

出品者150名、300余の素晴らしい作品、大作が並べられ開催日を迎えました。出品されました多くの方に感謝します。朝早くから途切れることなく多数の観覧者が訪れました。作品を熱心に撮影する人や「力を貰いました!」「私も、次回出品してみようかしら!」など、お帰りの時、どなたも「心からの笑顔」であったことが印象的でした。

来場者は2日間延べ400名を超えました。これも、感謝、感謝! 「作品展」が今回初めての事務局にも、気苦労と慣れない準備作業に対し感謝! 皆様の協力を得、無事終わることが出来ました。感謝!!



文化部長 加藤 誓(ちかい)

クラフトテープで作る「寅」
藤栄なごやかクラブ第一
玉城文子



私は毎年干支の作品を作っています。今年は「寅」で、顔の表情作りが難しく、何頭か作って納得出来るものが出来ました。

寅はもともと演に由来すると言われ、「人の前に立つ」。演と同じ読みの「延」から、「伸ばす、成長する」という意味です。この二つの組み合わせが。壬寅(みずのえとら)です。とても縁起の良い寅だと、また、乳虎・母虎(優しいトラ)とも言われています。まさに今年ですね。まだまだコロナ終息が見えない生活が続く中でも、新しいことにチャレンジしながら、毎日を送りたいものです。



木目込み人形 十二支
極楽会 大鐘敏子



手先の作業が好きでいろんな物を作っていますが、木目込み人形は三百年近い歴史を持つ、伝統ある人形です。十二支を作りたいと思いました。一年に一体と決め、毎年九月頃になると、来年はどんなデザインにしようかと、ワクワクしながら人形店に材料を買いに行きます。木目込み人形は気を付けなければいけないことが多く、まず、桐糊を固めた下地をきれいに整えてから、ボディに溝を掘ります。溝は浅すぎても深すぎてもうまくいきません。次に糊を付けて布地をへらで溝の中に入れて込んでいきます。指先に神経を集中させ、しわが寄らないように丁寧に作業をします。最後にかなめになる目を入れて完成です。いつもは一体ずつしか出しませんが、今回の作品展で十二体を一緒に見て頂けて嬉しかったです。

趣味の作品メイト 紙上展 令和3年度

メイト紙上展は、右のアプリからスマホでも見ることが出来ます。



趣味の作品展にレース編み直径2m 70cmのパイナップル編みテーブルクロス 2点、40cmテーブルセンター7点出品しました。

若いころからレース編みが好きで家の用事を済ませホットするときにはいつも傍らにレース糸と本があり、どちらかに手を出しています。

いま読んでいます本は「老いと言う名の贈り物」。主に、健康や趣味の本を読んでいきます。また、気分転換に平和公園でのウォーキング、ゴルフ、太極拳と無理をせず、転ばないように心がけて過ごしています。

平和が丘第四クラブ 島田育子(78)



ちりめん細工のうさぎ ひふみよ会 伊神名帆子

孫娘が手に持てるようにと、サイズを拡大して作りました。手元にある布の中の明るめで大きめの柄を選び非対称の色合わせにし、衿のフリンジは二重にしてみました。しかし、幼稚園児には楽しくなかった様で、家に持って帰ってはくれませんでした。大人の感覚では子供には面白くないよううさぎさん、今、私の作業台の棚に坐っています。



・アンパンマンかミッキーマウスの絵柄にしふっくらボディの「うさぎ」創らむ



「いつも一緒に」は、花ばかり描いていたので、動物を描いてみたいと思った初の作品です。描きながら以前飼っていた花ちゃんを思い出しました。柴犬の花子です。

家の中にいるので、やかんのお湯が沸くと、ワンワン吠えて教えてくれる、賢い子だったんですよ。部屋の隅に食べ残した骨を隠したり、可愛い〜花ちゃんでした。

絵を描くときに苦心した事は、毛並みのフワフワ感を出す事と、カップの陶器感を出す事です。小さな亀も可愛く描けて、思わずニコリ！我ながらうまく描けたと、気に入っている作品の一つになりました。部屋に飾って楽しんでます。 引山華山クラブ 満元高子

趣味の作品メイト紙上展 令和3年度
 “文化部長の応援を得て、広報部員が「この作者の一言を聞いてみたい」と選んだ作品です”

高針九十九会 小牧重夫

私が彫刻刀を持つのは小学生以来です。

退職後に表札づくりから始まって孫の命名の折に名前を壁掛け【レリーフ】で作ったところ、息子夫婦に喜ばれたのがきっかけで、透かし飾り彫りの椅子を約一年かけて作りました。

その後、スズメ、モズの木彫りの作品を見て、それらのはく製と見まがうばかりの見事さに、魅力を感じ、自分でもやりたいとの気持ちから、バードカービング

教室に入りました。なかなか難しく、木を削り、色を塗り、完成までに約一年をかけ、やっと枝に取りつけることが出来ました。

この教室に入ったことで、バードカービングについて詳しく知ることが出来ましたし、自分に合った作品作りの趣味を見つけることが出来たと思います。

なごやか名東 梅田三枝子

友人の紹介で初めて出品させていただき、たくさんの作品に驚きました。作品一つひとつ手が込んでいて皆様の力作に感動いたしました。

私の作品「木ぼっくり」は、森を散歩中落ちていた小枝を手にとって見るとなんとなく人形に見えてきたのです。

このまま土に返してしまうのかと思うともったいなくもう一度命を吹き込んであげたくまりました。次回も皆様の心に響くような作品を出品出来たらと思います。



理事会報告 区役所講堂
 3月11日(金) 東日本大震災犠牲者へ黙祷
 趣味の作品展 詳細決定
 4月8日(金) 令和4年度区なごやか連役員改選
 市老人クラブ大会中止、市老連通常総会 役員に限定して開催

世界寺子屋運動 書き損じはがきの提供が、今回は、305 枚ありました。温かいご援助有難うございました。 広報部

言われる美しさに心を打たれたからです。最初は、岡崎方面に俳句仲間と車を走らせ、溪流でかわせみを見つけた。主人と一緒に奇麗やと喚声を上げたこと。第三番目は、鶴舞公園の鈴菜橋で蓮を眺めていた。カメラを持った人たちがドヤドヤとかわせみを追っかけていた。清涼なコバルト色の羽根、水辺の宝石とされた。今では、中部南画会水墨画を、田能村直外、阪上臥牛先生に親しく指導していただき指導していただきまし



かわせみ(翡翠) 本郷第二すみれ会 堀 幸子
 新生オミクロン株に耐えながら趣味の作品展に頑張りました。関係者のご尽力で開催された作品展、出品させていだき有難うございました。出品者として、涼やかなコバルト色の羽根、水辺の宝石とされた。今では、中部南画会水墨画を、田能村直外、阪上臥牛先生に親しく指導していただき指導していただきまし



作品展:趣味のボールペン画

上野げんき会 生駒三千男

今から3年前に、永続の出来の趣味を持ち、色々のために、費用面、手軽さ等々のボールペン画を選択し、自己流で挑戦してやる事になりました。折々折々、将棋の藤井聡太君の小進撃を讀み、愛知・瀬戸市を明るくし、少年の夢を築き、地区の声援を一身に受けていた月夜でした。そんな状況下、瀬戸銀座センターは、「のぼり」「たれ幕」「写真」等を飾りお祝ムード色の殊るが新聞に載り、その写真とボールペン画に写し私の一作品としました。コロナ禍で延期、中止が繰り返されていた作品展が3月に実施される事になり、私も出展する事となりました。今更なる時代、状況を反映する題材を画き上手な絵が描けるよう精進しています。

女性委員会・女性代表会合同会議報告

令和4年3月17日(木) 10時

- 1、令和4年度女性リーダー会事業計画
- 2、令和3年度各区女性リーダー代表者会活動報告 5月20日(金)までに提出
- 3、女性リーダーノルディックウォーキング体験会 5月12日(木) 10時、名城公園にて
- 4、女性リーダー野外研究会 6月22日(水) 覚王山揚輝荘

会議終了後、フェルトバッグの作成講習会を行いました。

報告者 小早川かよ子

「アマビエ」は、1846年5月(江戸時代)現在の熊本県にあたる肥後国海上に出現したとされる日本の疫病封じの妖怪。海中から光りを放って現れる。顔には鳥のクチバシがあり、体はウロコに覆われた、半人半魚の妖怪。

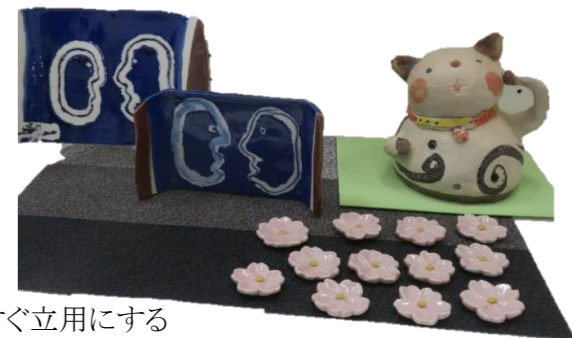
新型コロナウイルス感染症が世界中に流行している中、今話題となっています。福祉会館にて、作る事になったのですが、近頃、腰は痛いし、すぐ疲れてくるはで、もう作れない〜どうなる事かと思いましたが、たくさん手伝っていただき出来上がりました。後日、焼き上がった作品を見たときは、本当に嬉しかったです！！ 引山華山クラブ 瓜生恭子



陶器のオブジェ

・素焼きの素材に、ロウ抜きして「顔」らしく見えるようにするのは難しく、どんな色にするかもさんさん考えました。本焼きでは、まっすぐ立用にする工夫が要りました。

・「猫」は土台を風船で膨らませて形にし、その上に顔を乗せ、耳、手をつけ、可愛く仕上げるのに苦労しました。・桜の季節に合わせて、「箸置き」を並べました。陶芸は、いろいろ考えたものを具象化するのがとても楽しいです。 なごやか名東 森 里美



ビーズの編み込みセーターの思い出 ヴィヴィッド倶楽部 田口 雅子



作品展に何か出してほしいと言われて、ずいぶん前のもよければとビーズの編み込みセーターを、提出しました。思い出してみれば子供の友達のお母さんたちと、編み物教室に入ったのがきっかけでした。課題のものを編みながら先生が紹介してくれた、このビーズのセーターを見た時、「あっ、ステキ！」私も編みたいと思ったのです。

先生のとほ首回り、裾を、すこし自分流にかえてみました。白で編んだので汚れが気になり一度くらい、着たでしょうか？今でも好きな思い出の一枚です。